

令和5年11月8日

## 咽頭結膜熱に関する注意喚起について

咽頭結膜熱（プール熱）が県内で流行しています。

第44週（10月30日～11月5日）の定点医療機関あたりの患者報告数が**3.90人**となり、「**警報レベル**」の開始基準値**3.0人**を超えました。

全国的にも、患者報告数が増加しており、咽頭結膜熱の感染予防のため注意喚起します。

### 1. 県内の発生状況

定点医療機関あたりの患者報告数（感染症発生動向調査、小児科定点）

| 週   | 40週<br>10/2～10/8 | 41週<br>10/9～10/15 | 42週<br>10/16～10/22 | 43週<br>10/23～10/29 | 44週<br>10/30～11/5 |
|-----|------------------|-------------------|--------------------|--------------------|-------------------|
| 富山県 | 1.52             | 1.62              | 2.28               | 2.62               | <b>3.90</b>       |
| 全国  | 1.86             | 1.75              | 2.16               | 2.43               | (11/14公表予定)       |

小児科定点医療機関数：富山県 29 医療機関、全国：約 3,000 医療機関

### 2. 咽頭結膜熱とは

咽頭結膜熱は、アデノウイルスによる急性感染症で、小児に多い疾患です。

5～7日の潜伏期間の後に、発熱、頭痛、咽頭痛、結膜充血等の症状が3～5日間程度持続します。

プールでの接触やタオルの共用により感染することもあるため、「プール熱」とも呼ばれます。

一般的には夏季に流行が見られる感染症ですが、近年は冬季にも流行が見られるようになり、1年を通して注意が必要です。

### 3. 予防のポイント

- ・ 流行時には流水と石けんでのこまめな手洗いを行いましょう。
- ・ タオルやハンカチ、点眼薬などの共用は避けましょう。
- ・ おもちゃや食器等の消毒には、希釈した塩素系漂白剤や煮沸を用いましょう（アルコール消毒液は効果が弱い）。

感染経路は、患者の咳やくしゃみに含まれるウイルスによる飛沫感染や、ウイルスが手などを介して口から入る接触感染です。

報道機関の皆様には、県民の方々に対し、咽頭結膜熱を予防するため、注意喚起に格段のご協力をお願いいたします。